令和８年１０月９日
諏訪市立諏訪南中学校長　増村隆洋

令和８年度 前期終業式・後期始業式 校長講話

「楽しい！好き！が夢の始まり」



全校のみなさん、こんにちは。
それでは令和８年度諏訪南中学校の前期後期終始業式の校長講話をはじめます。
みなさん、南中の愛言葉はなんですか？「夢叶うまで挑戦」です。
南部３校の教育目標はなんですか？
「自分と友だちを大切にし 夢に向かってあゆむ」ですね。

どちらにも「夢」という言葉があり、南中では４０年前の開校当時から、生徒のみなさんが「夢に向かって挑戦する姿」が大切にされてきていることがわかります。

毎年の入学式でも校長先生の式辞の中で、現在アメリカ大リーグで活躍する大谷選手が小さい頃から自分の夢を持ち、その夢を実現するための具体的な目標を設定し、その目標を達成するために日常生活における心がけや行動を「日々やるべきこと」として具体的に記したマンダラチャートの話をさせてもらっています。

さて、そこで質問です。みなさんには今「夢」がありますか。

「夢がある」という人は心の中で「はい！」と答えてください。今、将来に向けた明確な「夢」が持てていることはすばらしいことですね。是非、その「夢」を大切にして南中の愛言葉や南部３校の教育目標のように挑戦し歩んでほしいと思います。

反面、「まだ、はっきりした夢は持てていない」という人もいるかと思います。でも、悲観したり、下を向いたりする必要はまったくありません。

校長先生もみなさんと同じ中学生の頃に、夢が持てていたかというと決してそんなことはなかったように思います。ただサッカーが大好きで、毎日夢中になって友だちとボールを蹴っていたように思います。

先生方にも聞いてみましょうか。先生方の夢はなんですか。夢はありますか。

夢というととても大きな将来の目標のようなイメージがあるので、それを具体的に描くのはとても難しいことだと思います。

みんなも知っていると思いますが、先日のアジア大会 e スポーツ競技「ぷよぷよ」部門で日本選手団最年少の小学 5 年、「ゆうき」こと栗原悠輝さんが 11 歳という大会史上最年少記録の快挙となる金メダルを獲得しましたね。彼が「ぷよぷよ」に出合ったきっかけは、幼稚園児の頃にお母さんからプレゼントされた「ぷよぷよテトリス 2」でした。彼はそのゲームにはまり、小学生の頃は放課後に没頭していたそうです。小学 2 年生の大会ではプロを倒して 3 位に入賞するなど、「遊び」は次第に「競技」へと変わったそうです。

校長先生がみなさんに伝えたいのは、今まだ「夢」を持てなくても大丈夫。まずは「自分の好き！楽しい！」を見つけてみましょう。あわてなくても大丈夫。その「好き」や「楽しい」ことがまずは今の自分の生活を明るく豊かにしてくれるのではないかと思います。

そしてそのことが、やがて夢につながるものになるかもしれませんね。

以上で校長講話を終わります。